

ふれ愛め～る

社協 福祉だより 108 FUREAI MAIL



「赤い羽根共同募金運動」 にご協力をお願いします！



みなさんの募金が、困っている誰かの「ありがとう」につながっている。
募金が「ありがとう」につながれば、それがまた新しい募金へと連鎖していく。
「募金」が→「ありがとう」になり→「次の募金」へとつづく。
赤い羽根共同募金は、小さなことを（たくさん）しています。
そしてその活動は、たくさんの「ありがとう」につながっているのです。

ふれあいネットワーク



網走市社会福祉協議会

おもな内容(数字は掲載ページ)

- 赤い羽根共同募金運動が始まりました …… 2
- ホームヘルパーとして働きませんか? …… 8
- 網走市「高齢者の生活と健康に関する調査」結果 …… 10

10月1日から 赤い羽根共同募金運動 が始まりました。

共同募金は時代の変化に合わせて、社会福祉を目的とした様々な活動を支えてきました。

また、このたびの胆振東部地震の被災地においては、災害ボランティアセンターの立ち上げやボランティアの活動資金として赤い羽根共同募金を有効に活用しています。

今年も市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

平成29年度
赤い羽根共同募金実績額 **3,233,188円**



募金方法について

募金については、戸別（町内会）募金、法人募金、学校募金等において市民の皆様方にご協力いただいておりますが、その他には、スーパー、飲食店、市内公共施設等に募金箱を設置しています。

また、網走市総合福祉センターにおいて募金を受付しています。こちらでは領収書を発行することができますので、ぜひご協力をお願い致します。



募金グッズを活用した運動を展開

網走市総合福祉センターでは、初音ミクのクリアファイル、ピンバッジ、北海道日本ハムファイターズの選手缶バッジなどのグッズによる募金活動を行なっています。いずれも数量限定です。



北海道胆振東部地震義援金を募集しています

平成30年9月6日(木)未明に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」により、各地で人的被害をはじめ、家屋の倒壊等の甚大な被害が発生し、厚真町、安平町、むかわ町をはじめ北海道全179市町村に災害救助法が適用されました。

これらの未曾有の事態を憂慮し、共同募金会では、被災された方々の救援を目的に義援金の募集を行っております。

この度の災害により犠牲になられた方へお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

- 募金取り扱い : 網走市総合福祉センター (網走市北11条東1丁目)
- 受付時間 : 平日9時~17時
- 受付期間 : 平成31年3月31日まで



赤い羽根共同募金は、

あなたが住んでいる町のお年よりや体が不自由な人たちを助けるために役立てられています。このほかにも、地震がおきたときや台風で被害にあったときにも、助けてほしい人たちの力になるように募金は使われます。みんなのやさしいきもちがいっぱいあつまれば、たくさんの困っている人を笑顔にできるようになります。今年も、赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。



寄付金には税制上の優遇措置があります
▼詳しくはホームページをご覧ください▼
【URL】<http://www.akaihane-hokkaido.jp>

《お問い合わせ》

北海道共同募金会
Community chest of hokkaido

☎ (011) 231-8000

ふれ愛ひろば 網走 2018

去る8月26日(日) エコーセンターにおいてふれ愛ひろば網走2018を開催しました。

前日は台風の影響もあり、雨の中での準備となりましたが、当日は陽も差し、ちょうど良い気候で開催することができました。

中庭のステージイベント会場では、網走若葉幼稚園をはじめ参加団体の皆さんが元気良く歌や踊り、演奏などを行い会場は大いに盛り上がりました。

その他、車イスや手話体験、各団体の啓発活動、販売などが行われ、多くの方々にご来場頂きました。



栄誉を称えて



【網走市社会福祉事業功労者等表彰者】

◆ 民生委員・児童委員

井戸 訓子 様	大澤 博幸 様
太田 美津子 様	小野寺 洋子 様
川島 悦子 様	菊地 庸子 様
小林 颯 様	酒井 利彰 様
佐藤 公哉 様	澤田 光正 様
高橋 征夫 様	竹中 良邦 様
西田 眞知子 様	堀川 美枝子 様
武藤 智子 様	

◆ 社会福祉団体役員

大川原 藤子 様
 (網走市社会福祉協議会評議員)

笠谷 俊一 様
 (網走市社会福祉協議会監事)

山田 栄 様
 (網走市社会福祉協議会評議員)

◆ 青少年センター指導員

大崎 照美 様

◆ 自立更生母子世帯

塩田 直美 様 中川 知美 様

矢代 さおり 様

【網走市社会福祉協議会会長顕彰被表彰者】

保科 百合子 様
 (網走ほっとコールコスモス会、10年6カ月)

大川原 藤子 様
 (網走ほっとコールコスモス会、12年4カ月)

大西 三千雄 様
 (高齢者ふれあいの会くるみ、10年3カ月)

長祖 信孝 様
 (西地区高齢者を支えるボランティアの会、10年3カ月)

◆ 役員等表彰

黒田 幸市 様
 (網走市社会福祉協議会理事 10年)

江田 卓雄 様
 (網走市社会福祉協議会監事 10年)

網走市子育てサポートセンター 協力会員募集

網走市子育てサポートセンターでは、6カ月～小学校6年生以下のお子さんの育児の援助をしてくださる方（協力会員）を募集しています。

《網走市子育てサポートセンターとは》 子育てサポートセンターとは、育児の援助を受けたい人と、育児の援助を行いたい人が会員となり、会員同士で支え合う組織です。

《協力会員募集対象》 ● 網走市に在住の20歳以上の方 ● ご自宅でお子さんを預かる事ができる方
● 男女は問いません ● 保育士などの資格は不要

★協力会員として活動するには、センターで開催する講習会のどれか1つを受講していただき、会員登録していただく必要があります。ご協力いただける方は下記の講習会にご参加ください。

講習会日程

- ・第3回 11月13日 火 9:00～16:30
- ・第4回 2月19日 火 9:00～16:30
- 申込締切は開催日の**1週間前**です。
- 受講ご希望の方は事務局までお申し込みください。

網走市子育てサポートセンター



～お気軽にお問合せ下さい～
〒093-0061
網走市北11条東1丁目網走市総合福祉センター内
電話 (0152) 43-2472/FAX (0152) 43-3919
E-Mail kosodatesc-ad@a-shakyo.jp

《援助の例》 ● 子どもの通園・通学・習い事の送迎 ● 軽い病気の時、病児・病後児の預かり
● 保育施設の時間外や、学校の放課後などの預かり

《サポートの報酬》 ● 30分 350円～400円 ※詳しくは、子育てサポートセンターまでお問い合わせください。

認知症

カフェ あえる

「認知症カフェあえる」は、認知症への理解を深めるための普及啓発及び認知症の人とその家族が市民や認知症の専門員と交流を深めるなど、「出会える」「わかり合える」「支え合える」きっかけとなる場です。「認知症について知りたい」「介護の相談をしたい」「同じような悩みを持つ人と話したい」「素朴な疑問を聞いてみたい」など、お茶を飲みながら気軽に語り過ごしてみませんか？

下記の日程で開催していますので、お気軽にお越しください。

- 10月26日(金) 10時～12時 BASIC橋北店
- 11月21日(水) 14時～16時 シティあばしり店
- 12月19日(水) 10時～12時 エコーセンター2000
- 1月24日(水) 10時～12時 BASIC駒場店
- 2月27日(水) 10時～12時 まちなか交流プラザ(アプト4)
- 3月27日(水) 10時～12時 コープさっぽろあばしり店

- ◇健康相談
- ◇地域の相談窓口
- ◇情報発信あれこれ
- ◇ホッと一息・・・

無料です

主 催：網走市/網走市認知症地域支援推進員

問合せ：網走市役所介護福祉課高齢者福祉係 (44-6111 内線：288・411)

ボランティア活動中の事故に備えて！

安心安全なボランティア活動を心がけていただくために、「ボランティア活動安全ハンドブック」（発行：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）があります。

今後もより良い活動を継続していただくために、冊子に掲載されている事故内容や安全なポイントをご紹介します。



●事故内容及び年齢別割合

ボランティア活動保険で報告されている事故原因の7割が転倒事故です。また、年齢別の事故割合は60歳以上が8割を占めています。年齢を重ねるにつれて、事故における後遺障害のリスクが高いです。活動中の事故防止を徹底するとともに日頃の体力づくりをしていくことも大切です。

●ボランティアを安全に進める10のポイント

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①日頃から体力づくりに努めましょう | ⑥準備運動をしてから活動しましょう |
| ②足元の安全確認をする習慣をつけましょう | ⑦今の自分にできることから活動しましょう |
| ③自転車の運転には注意しましょう | ⑧疲れを感じたら必ず休憩をしましょう |
| ④活動当日の体調を把握しましょう | ⑨不用意に犬に近づくのはやめましょう |
| ⑤活動内容に適した服装を心がけましょう | ⑩危険だと感じたことは会員内で共有しましょう |



住み慣れた地域で生活していくための 豆 情 報

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者や障がいのある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えています。そこで、地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民生委員・児童委員」の存在です。住み慣れた地域で安心した生活ができるよう、いざという時のためにも、自分の地域を担当している「民生委員・児童委員」を知っておくことが大切です。

「民生委員・児童委員」は市民の一番身近な相談員です。



◇民生委員・児童委員って？

「民生委員・児童委員」は、地域福祉の向上のため、厚生労働大臣と北海道知事から委嘱されています。その活動は“ボランティア”です。市民の皆様生活を暮らしやすいものにするため、様々な活動を行い、常に住民の立場に立って相談に応じ、問題解決のお手伝いをします。



◇秘密は守ります！

民生委員・児童委員には、公務員と同じように**守秘義務**があり、相談内容や個人の秘密は決して外に漏らしてはいけません。安心してご相談ください。

【ご不明な点はお問い合わせください】

網走市支部には現在104名の民生委員・児童委員がいて、それぞれの担当地区が決められています。

お住いの地域を担当する「民生委員・児童委員」が誰か、活動内容など、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。



民生委員連盟網走市支部事務局 (TEL 61-2818/FAX 61-2833)

ホームヘルパーとして働きませんか？

～網走市の訪問介護事業所ではホームヘルパーが不足しています～



- ライフスタイルに合わせて働くことができます。
- 急な用事などにも対応し、お休みが取りやすい仕事です。
- 資格を生かし、短時間で高収入を得ることができます。
- 経験のない方にも先輩ヘルパーが教えてくれるので安心です。
- とってもやりがいのあるお仕事です！



ヘルパー歴5ヶ月

◆これまでヘルパーの経験がなく、最初はとても不安でしたが、先輩ヘルパーに丁寧に教えて頂き、また、相談に乗ってもらったりと助けられ、今では楽しくお仕事をすることができています。訪問先では利用者様が笑顔で迎えてくれ、楽しそうにお話をしている姿を見られるとこちらも嬉しくなるので、とてもやりがいのあるお仕事だと感じています。これからも安心感のある心地良い支援が出来るよう頑張っていきたいです。

◆以前は数字を追いかける仕事しか、した事ありませんでしたが、テレビで離島の高齢者宅へ船で出掛けているヘルパーを見て、この仕事を知り自分もやってみたくと資格を取得し、始めたのがきっかけでした。

ヘルパーの仕事は訪問先で多少の違いはありますが家事の延長線上にあり、人と話をする事が好きで18年間続ける事が出来ています。

また、働く時間を選べ、社会との繋がりも出来るため、楽しく仕事が出来ており、これからも続けて行きたいと思っています。



ヘルパー歴18年

私たちと一緒に お仕事しませんか？

週1回から
日程調整可能!
お問い合わせ
お待ちしております!!

網走市老人デイサービスセンター 代替介護員募集

- 仕事内容 利用者様の入浴介助、ホールでのお世話をさせていただきます
- 応募資格 資格がなくてもOK!
- 勤務時間 午前8時30分～午後4時30分、午後12時30分～午後3時00分
- 時給 890円 交通費支給
- お問い合わせ 0152-43-0855 (担当:寺中)

お申し込みは

社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

093-0061 網走市北11条東1丁目総合福祉センター

TEL 0152-43-2472 (担当:総務係)

暮らしの困りごと・悩みごととご相談ください！

市民の皆様方の暮らしの中で「不安」や「困りごと」を抱えている方のご相談を受け、解決につながるよう共に考えるお手伝いをさせていただきます。ご相談は無料です。一人で悩まずにご相談ください。プライバシーに配慮しながらご相談をお受けします。

対象者

- 網走市に居住する方で、経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなる恐れのある方。
- 収入や資産等の要件は問いません。 ● 生活保護を受給している方は対象になりません。

このようなことで困っていませんか？

- 生活に困っている。家計が苦しく先が見えない。
- 働くことに不安を感じる。
- 就職がうまくいかず家にとじこもっている。
- 人とのコミュニケーションが苦手。
- 心身に不調があって仕事が長続きしない。
- 相談できる人がいない。 等々

開設時間

- 月曜から金曜（土・日・祝日、年末年始の休日を除く。） 午前9時00分から午後5時00分まで

開設場所

- 網走市総合福祉センター（網走市北11条東1丁目）



お問い合わせ

- 生活サポートセンターらいと 生活相談窓口 電話：67-7095

入場無料
申込不要

市民後見を学ぼう！



11月18日(日)

【時間】午前10時～正午

【場所】オホーツク文化交流センター
3階学習室

【講演】市民後見活動記

「市民後見でつくろう、地域の明日の底力」

成年後見センター・リーガルサポート大阪支部副支部長

司法書士 梶田 美穂 先生

【活動報告】

・市民保佐人 清野 芳美 氏

・網走市生活サポートセンター 主任相談支援員 大津山 逸朗

【お問合せ先】網走市社会福祉協議会 生活サポートセンター らいと ◎TEL 67-6555

● 主催／網走市社会福祉協議会 ● 後援／網走市、北海道民生委員児童委員連盟網走市支部

網走市「高齢者の生活と健康に関する調査」結果

一橋大学・国立社会保障・人口問題研究所*の研究者が、網走市健康福祉部、網走市社会福祉協議会と協力して2016年から実施しているアンケート調査の結果をご紹介します。

* 国立社会保障・人口問題研究所は、厚生労働省に所属する国立の研究機関で、人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行っています。

2016年2月に実施した第1回調査では、網走市にお住まいで65歳以上の高齢者ふれあいの家に参加している方（参加者）258名、参加していない一般の方（非参加者）200名を対象に調査をお願いし、それぞれ235名、131名から回答をいただきました。

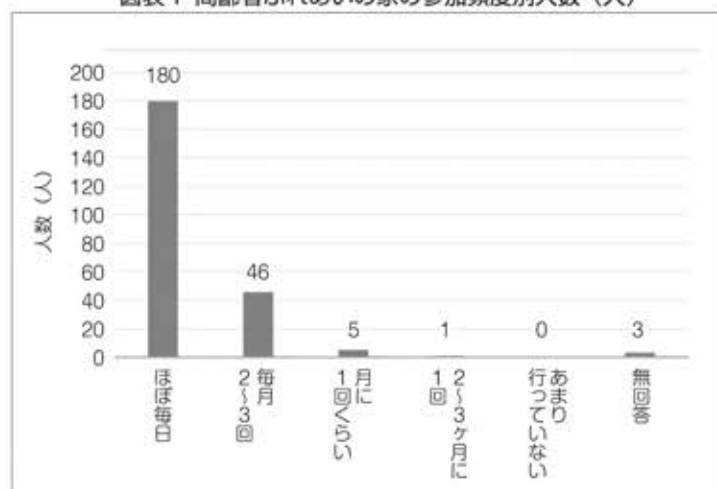
【回答者の性別】参加者：男性19.1%、女性76.6%、無回答4.3%

非参加者：男性45.8%、女性45.0%、無回答9.2%

【回答者の平均年齢】参加者：79.0歳

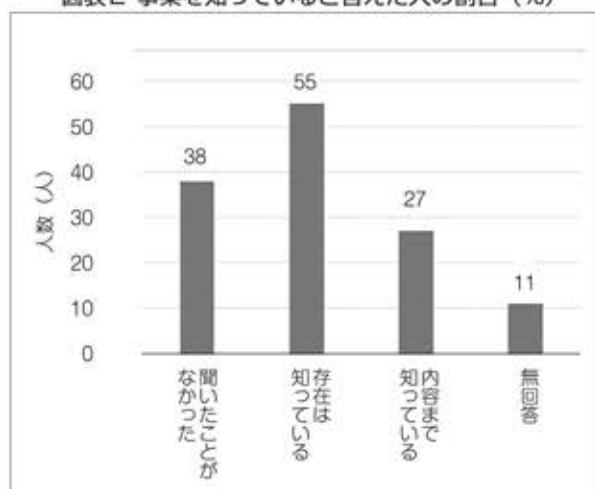
非参加者：74.8歳

図表1 高齢者ふれあいの家の参加頻度別人数（人）



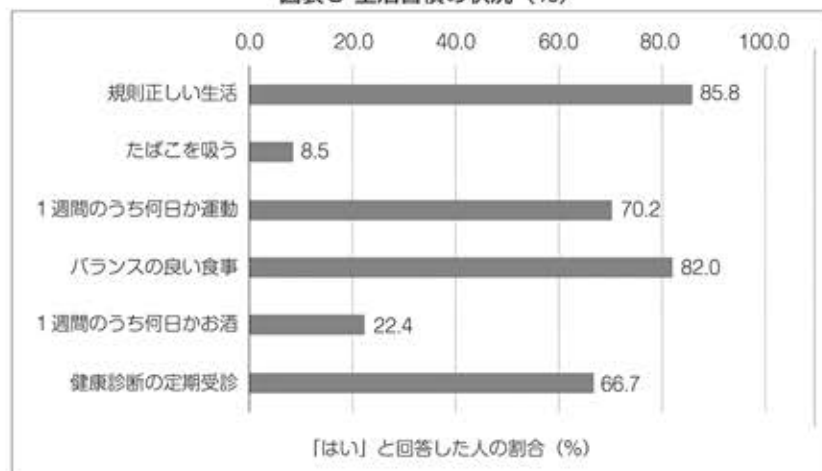
ふれあいの家に参加している方に、参加頻度をうかがったところ、180人（76.6%）の方がほぼ毎週参加していると回答しました（図表1）。

図表2 事業を知っていると答えた人の割合（%）



ふれあいの家に参加していない方に、ふれあいの家についてご存知かどうかをうかがいました。2割の方が内容まで知っていて、いままでに聞いたことがないとする方は29%でした（図表2）。

図表3 生活習慣の状況（%）



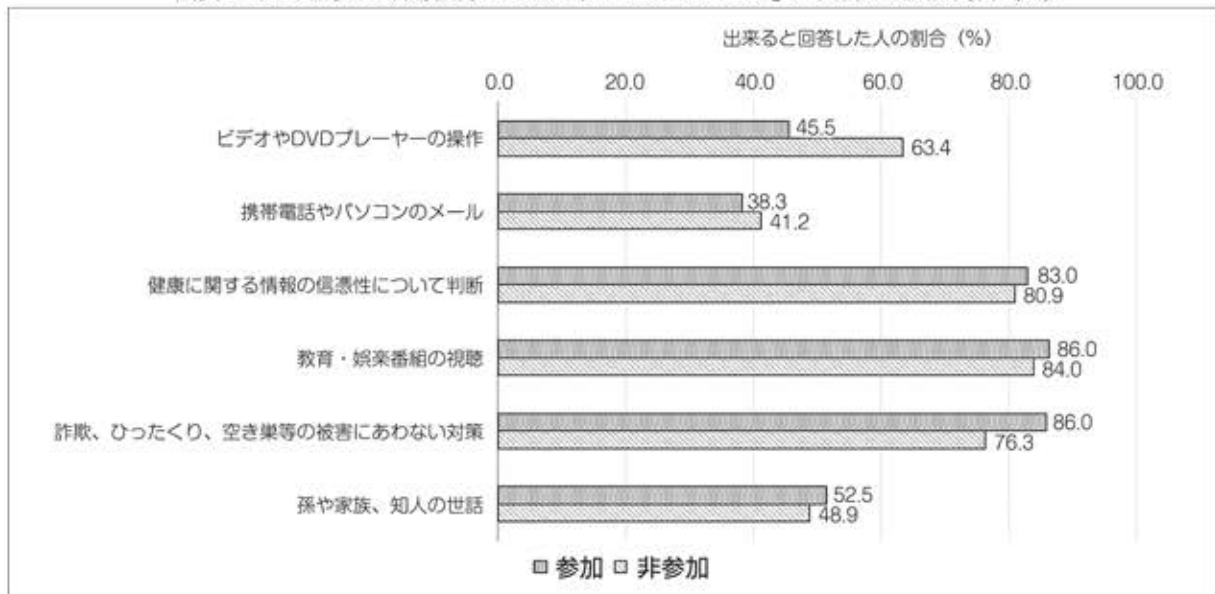
調査に回答したすべての皆さんに生活習慣についてうかがったところ、7割以上の方が規則正しい生活を送り、1週間のうちに何日か運動をする習慣があり、バランスの良い食事をしていました。タバコを吸う人は8.5%、週に何日かお酒を飲む人は22.4%でした（図表3）。

【調査の概要】

- ・対象者：網走市にお住まいの65歳以上の方のうち、ふれあいの家に参加している方258名、参加していない一般の方200名。
- ・調査方法：社会福祉協議会を通じて郵送で調査票を配布し、郵送により回収を行った。
- ・調査時期：第1回調査 2016年2月、第2回調査 2017年2月、第3回調査2018年2月。
- ・調査資金：2015～2017年度文部科学省科学研究費補助金（課題番号15H03444）

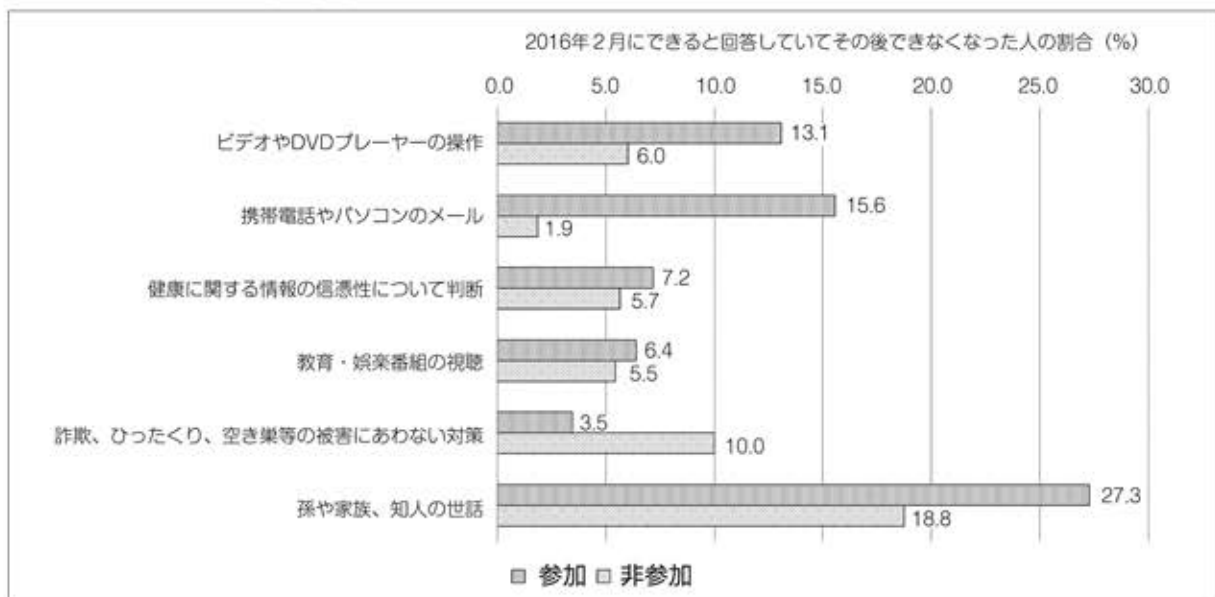
調査に継続して回答した方々の心身の状態について、高齢者ふれあいの家に参加している方としていない方とを比べてみました。

図表4 第1回調査で活動状況について「できる、している」と回答した人の割合(%)



- ・2016年の第1回調査で、詐欺などに合わない対策、教育・娯楽番組の視聴、健康情報の信ぴょう性の判断で「できる、している」と回答した人は8割前後いました。ふれあいの家の参加者で最近の機器の操作をできると回答した人が少ないのは、平均年齢が高いのも影響していると考えられます(図表4)。

図表5 第1回調査で活動状況について「できる、している」と回答した人のうち2年後に「できない、していない」と回答した人の割合(%)



- ・2016年に活動状況について「できる、している」と回答した人が、2年後の同じ質問に対してどのように回答するかを調べました。ふれあいの家参加者のうち4人に1人、参加していない人のうち6人に1人が「孫や家族、知人の世話」に「できない、していない」と回答していました。ふれあいの家に参加していない人の1割が「詐欺、ひったくり、空き巣等の被害に遭わない対策」に「できない、していない」と回答しているのも気になります。参加していない人に何かしら支援が必要かもしれません(図表5)。



これまでご協力くださった皆様、どうもありがとうございます。今後も調査を実施する際には、ご協力よろしくお願いたします。

寄付者 (H30/7/1~30/9/30)

心あたたまるご芳志をありがとうございました

鎌田 千枝子 様 大崎 かよ子 様
 安達 栄子 様 新輪 和弘 様
 松浦 孝子 様 鈴木 昇 様
 杉本 幸弘 様 向山 繁 様
 シティ環境株式会社様
 網走ろうあ者ととともに手をつなぐ会様

寄付金について

行事などの収益金、香典返しとして、市民の皆様から善意の寄付金をいただきました。寄付金につきましては、社協会費同様、地域福祉活動のための貴重な財源として活用させていただきます。

「必要なときに、必要な方へ」 車いすを無料で貸出しています

網走市社会福祉協議会では、一時的に車いすが必要な方に、車いすの貸し出しを行っています。手続きは非常に簡単ですので、ぜひご利用ください。

- 貸し出し期間 (3カ月以内)
- 貸し出し場所 網走市総合福祉センター
- 例えば、こんな時に利用できます
 - ・急に車いすが必要となり、購入するまでの期間
 - ・ケガ等で退院後の外出時
 - ・旅行等で網走市に滞在される方
 - ・施設入所者の外出、旅行など
 - ・企業や学校が福祉学習を行うとき

お気軽に
ご利用
ください

職員(嘱託職員)を募集します

2019年3月卒業見込みの福祉系大学・学部・学科卒業者の採用を予定しています。

社会福祉協議会事業の企画、運営、事務系の仕事です。

ホームページに募集要項を掲載していますので、ぜひご覧いただき、ご応募をお待ちしています。

URL <http://www.a-shakyo.jp> 募集締切 11月5日(月)



自閉症やダウン症の障がいを持つメンバーとサポーターでバンドを組み活動をしています。今年10年を迎え、初めてコンサートを開くことになりました。たくさんの方々にしゃ〜みん♪の演奏を聴いていただけたらと練習に励んでいます。

「イベント用備品を貸し出します」

地域福祉の推進を目的として行う行事やイベントで活用できる備品の貸し出しを行なっています。

1. 利用できる方
町内会等の組織、老人クラブ、ふれあいの家、福祉団体、ボランティア団体、社会福祉協議会団体会員、福祉事業者等
・地域で行なう行事等で使用する場合に限りです。
・網走市内のグループ組織に限りです。(個人利用は不可)
・営利目的、政治活動、宗教活動を目的とする場合は貸し出しできません。
・又貸し行為は厳禁です。
2. 貸し出し期間
借用日と返却日を含めて8日以内(例:月曜日から次の月曜日まで)
3. 貸し出し料金
無料(但し、破損等があったときは、修理費を負担いただく場合があります。)
4. 貸し出し備品
たこ焼き機、かき氷機、わたあめ機、ポップコーン機、鉄板焼き機、ワンタッチテント、折りたたみテーブル、イス、その他
5. 利用方法
予約は先着順で、利用申請書を提出していただきます。
備品の運搬は各自でお願いします。

【お申込み・お問合せ】 網走市社会福祉協議会 総務係まで
電話 0152-43-2472/FAX 0152-43-3919

編集後記

日本におけるボランティアの始まりをご存知でしょうか。1995年の阪神淡路大震災、この時に多くの災害ボランティアが活躍されたことから、この年は日本における「ボランティア元年」と呼ばれています。昔はボランティアという言葉はなく、向こう三軒両隣という考え方から、地域の助け合いが自然となされていました。孤立問題、介護負担、災害時など、様々な地域課題がある中、昔の助け合いが今、必要になってきます。ボランティアという言葉がなくなるくらいの、地域での助け合いづくりを進められればと感じている今日この頃です。(M)

本紙を朗読した録音CDを声の図書館「そよかぜ」さんが製作しています。

社協 福祉だより VOL.108

発行日 平成30年10月22日
網走市社会福祉協議会
網走市北11条東1丁目福祉センター内
TEL 0152-43-2472
FAX 0152-43-3919

ふれあめ〜るは共同募金の配分金で印刷されています